

道明寺天満宮探梅と石川（大和川支流）散策

齋藤優子

弥生3月とは言え明るい日差しの中にいまだ冷たい風が感ぜられるこの頃です。
先日、地域の人達と道明寺天満宮へ探梅に行ってきました。



道明寺天満宮 梅園



献木「菅原伝授手習鑑」上演成功祈願碑 片岡仁左衛門

幸いにもよく晴れて春の兆しが感ぜられる石川（大和川の支流）の川べりで、天然の鯉を見たり川原で遊ぶ椋鳥をみつけたりと自然を満喫してきました。満開の梅と陽気に誘われたとは言え、これを俳句として表現することはなかなか難しいことです。



石川(大和川支流)に泳ぐ鯉



川原に咲く犬殖栗(いぬふぐり)の花

三国丘高校在校時代、土生さんや富岡さんと文芸部の部室で語り合ったことはありましたが、その頃は俳句について相談することもなく、今ある姿は思いもよりませんでした。

俳句は余白の美しさを察しあう文化と言われており、俳句を詠む心としては、些細な事にも気を付けて観察することが大切であることを学ばせていただきました。

俳句の道では、まだまだ駆け出しの私ですが、皆様のお仲間に入れていただき、今後とも楽しみ続けて参りたいと願っております。

仁左衛門献木の梅紅枝垂れ
春の川流れにゆったり真鯉かな
草ぐさの中にひっそり犬殖栗

優子
優子
優子

